

令和7年度 学校経営計画・学校評価

■4月8日(火)提出

■10月2日(木)提出

■3月13日(金)提出

学校番号	25	伊野商業	高等学校	課程	全
------	----	------	------	----	---

高知県の教育の基本理念

(1)学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人
 (2)郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人
 (3)多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人

スクール・ミッション

企業や関係機関との連携を通して、高い専門知識や技術を習得したスペシャリストを養成し、次世代の産業の担い手を育成する。
 地域に貢献する学習活動を通して、商業に関する幅広い知識・技術を養い、協働する力や実践力を身に付けた地域産業を担う人材を育成する。

【アドミッション・ポリシー】(入学受け入れ方針)

- ・学業や特別活動等に意欲的に取り組み、向上心をもって努力し続ける生徒の入学を希望します。
- ・ビジネス教育に関心があり、体験学習や各種検定試験に取り組む意欲のある生徒の入学を希望します。
- ・地元及び地域の振興や活性化に取り組む意欲のある生徒の入学を希望します。
- ・「自分の夢」の実現に向かって、主体的にチャレンジしようとする意欲がある生徒の入学を希望します。

【カリキュラム・ポリシー】(教育課程の編成・実施方針)

- ・社会で必要とされる基礎学力の定着と商業の知識と技術の習得を目指します。
- ・実習や体験学習などを通して、地域や産業界と連携したキャリア教育を実践します。
- ・ビジネス教育を通して、地域活性化に貢献できる能力や起業家マインドの育成を図ります。

【グラデュエーション・ポリシー】(育成を目指す生徒の資質・能力)

- ・商業に関する専門的な知識と技術を身に付け、適切な勤労観と就業意識を持った生徒を育成します。
- ・ビジネスマナーやコミュニケーション能力を備え、他者と協働できる生徒を育成します。
- ・高校卒業後の進路を主体的に選択、決定できる生徒を育成します。
- ・地元産業や地域社会に貢献できる生徒を育成します。

【学力の向上】 評価 【 B 】

日頃から「分かりやすい授業」に努めており、検定取得のための取組及び体制について充実をしているとの評価をいただいた。しかし、「目標を持った学校生活」「毎日の授業に満足」においては、ややそう思うの意見が多かった。検定取得に向けた補習を実施することで、家庭学習時間が増えることを期待している。

【社会性の育成】 評価 【 A 】

インターンシップや研修旅行が生徒の成長に効果があると考えられており、教員の準備・振り返り、引率業務等に対して、高い評価を受けている。今後は、地域の方や隣の町の企業や卒業生などと一緒に交流イベントを開催し、これから先に体験するであろう大人との接し方や学びの場をコース別ではなく全体が体験できる機会を作っていく。また、部活動の活性化にも取り組んでほしいとの意見もいただいた。

【チーム学校】 評価 【 B 】

特別な支援が必要な生徒が多い中、丁寧で細やかな支援を行っており、生徒の悩みや困ったことについて、気軽に相談できるように努めているとの評価をいただいている。今後も、SC、SSWとの連携を保ちながら支援体制を維持してほしい。

学校関係者評価

(評価)A:目標を十分に達成 B:目標をほぼ達成 C:やや不十分 D:不十分

重点項目	育成を目指す資質・能力[P]	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	(評価)A:目標を十分に達成 B:目標をほぼ達成 C:やや不十分 D:不十分		見直しのポイント【A】
					中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】	
学力の向上	<p>★確かな学力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎となる知識・技能 ○思考力、判断力、表現力 ○生涯にわたって学び続ける意欲 ○自分の将来とのつながりを見通した学び ○社会の形成に主体的に参画するために必要な資質・能力 ○キャリアデザイン力(やりぬく力) 	<ul style="list-style-type: none"> ○検定試験の合格率及び合格者数 ・簿記実務検定3級合格率(1年次) 21.9%(R6) → 50%(R7) ・日商簿記検定3級合格者 1人(R6) → 3人(R7) ○「ほとんど学習しない」生徒の割合を 65%以下 ○C層以上の生徒の割合 ・R6 8.9% → R7 10%以上 ○将来のための勉強をしている生徒の割合 ・R6 80.3% → R7 85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業規律の確立 ○少人数教育、ITを取り入れた授業 ○定期的な教科会の実施 ○公開授業・参観授業の実施 ○ICTを活用した課題配信 ○検定取得に向けた補習等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・C層以上の生徒数(R6入学生) 5名(1年次1回目)→3名(2年次1回目) 【令和7入学生:1年次1回目...13名】 ・C層以上の生徒の割合...9.5% ○「ほとんど学習しない」生徒の割合... 67%(県オリジナルアンケート1回目) ・将来のための勉強をしている生徒の割合 75.2%(R7・1回目) 県平均...89.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの有効活用 ・公開授業期間の設定 ・検定合格に向けた補習 ・保護者との連携強化 ・生徒支援研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○C層以上の生徒の割合... 12.7% ○簿記実務検定3級合格率(1年次) ...18.8% ○「ほとんど学習しない」生徒の割合...76.8%(R7・2回目・県平均 36.6%) ○将来のために勉強をしている生徒の割合...78%(R7・2回目・県平均 88.4%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・補習の出席率を上げる対策の考案 ・タブレットの有効活用 ・進路に係る情報発信 ・教科会の定期的実施 ・教室環境をユニバーサルデザイン化 ・公開授業期間の設定
	<p>★豊かな心、多様性・包摂性の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな人間性・道徳性・社会性 ○他者への思いやり(地域・社会貢献、ボランティア活動等も含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「人と一緒に何かをするときは、相手の気持ちを考えて行動している」の肯定的回答【3学年平均】 93.1%(R6・1回目) → 94.4%(R6・2回目) 県平均...96% [目標]県平均に近づける 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリアガイダンス(1年次) ○体系的な講演会の実施 ○生徒が主体的となった学校行事 	<ul style="list-style-type: none"> ○「人と一緒に何かをするときは、相手の気持ちを考えて行動している」の肯定的回答【3学年平均】 90.3%(R7・1回目) 県平均...96.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の充実 ・地域でのスマホ教室(ICTコースの3年次生)の定期的開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○「人と一緒に何かをするときは、相手の気持ちを考えて行動している」の肯定的回答【3学年平均】 90.8%(R7・2回目・県平均...96%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の充実 ・インターンシップ、インタビューシップの充実 ・講演会の充実
取組項目	<p>【取組のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の社会的自立・社会参画に必要な資質・能力の育成 ○地域・関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」の肯定的回答【3学年平均】 52.3%(R6・1回目) → 56.2%(R6・2回目) 県平均...65.6% [目標]県平均に近づける 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活性化に向けた取組の充実 ○地域学習の深化 ・地域イベントへの参加 ・地域の魅力を発見し、体験する ・課題解決のためのアイデア提案 	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」の肯定的回答【3学年平均】 59.3%(R7・1回目) 県平均...65.1% ○伊野商祭への積極的な取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での体験学習 ・新しい地域イベントの探究 ・地域活動への参加 ・地域産品を使った商品開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」の肯定的回答【3学年平均】 55.1%(R7・2回目・県平均...64.4%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災活動への参加 ・枝川公園イルミネーションの継続 ・地域産業の研究
	<p>【取組のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の基盤となる言語能力や情報活用能力の育成 ○各教科の学びを実社会での課題発見や解決に結び付ける力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業でのICT利用率100% ○キャリアガイダンス、課題研究における言語活動(1年次...8時間、2年次...10時間、3年次...15時間) ○「学習すること自体が面白いから勉強している」【3学年平均】 40%(R6・1回目) → 35.2%(R6・2回目) 県平均...42.8% [目標]県平均に近づける 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科間の打ち合わせ(学期に1回、年間3回) ○学校共通の申し合わせ事項の確認 ○生徒情報の共有化 ○体系的な講演会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリアガイダンス、課題研究における言語活動 ○「学習すること自体が面白いから勉強している」【3学年平均】 39.5%(R7・1回目) 県平均...43.3% 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊野商祭における今後の課題を探る ・ICT校内研修会の実施 ・生徒支援研修会の実施 ・講演会等の講師の人選 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリアガイダンス等での言語活動 1年次...12時間、2年次...5時間、3年次...5時間 ○「学習すること自体が面白いから勉強している」【3学年平均】 38.8%(R7・2回目・県平均...43.4%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科間の連携強化 ・生徒情報周知会の実施による共有化

チーム学校	取組のねらい【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	(評価)A:目標を十分に達成 B:目標をほぼ達成 C:やや不十分 D:不十分		見直しのポイント【A】
					中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】	
学校の振興	<p>★学校の魅力化・特色化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元産業や地域社会に貢献できる生徒を育成するため、学校を挙げて取り組む。 ○様々な取組を通して、学校の知名度を上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○入学者増 ○地域イベントへの参画(年間10回以上) ○公開講座の開催(年間10回以上) ○就職内定率100% ○学科改編の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○公式ホームページ及び公式Instagramでの情報発信 ○特別活動等の活発化 ○生徒主体の学校行事 ○計画的な進路指導 ○教育内容の見直し改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・加茂中学校での公開講座 ・オープンスクールへの参加者...92名 ・進路決定率 82%... (9/29 現在) ・軽音楽部、商業技術部の全国大会出場 	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ホームページや公式Instagramの更新 ・入部率を高める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○就職内定率...100% ○ドローン教室、ドローンショーの実施 ○高知城ガイド、観光列車ガイド、枝川公園イルミネーション等の継続実施 ○軽音楽部、商業技術部が全国大会出場 	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学への合格者輩出 ・学校行事の魅力化 ・特別活動等の活性化 ・公式ホームページやInstagramの適宜更新
	<p>★教職員の倫理観の堅持</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止対策の徹底 ○よりよい職場風土づくり ○教職員のメンタルヘルス ○不祥事発生時の適切な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○法令遵守の意識...100% ○校内コンプライアンス研修(学期に1回、計3回) ○不祥事防止委員会(学期に1回、計3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○チェックリストの効果的活用 ○校外研修への積極的参加 ○風通しの良い職場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的不祥事防止委員会を開催し、全教職員に啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に校内研修を実施 ・風通しの良い職場づくり ・相談しやすい環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月の不祥事防止委員会の実施 ○教職員への研修による啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・同僚性の高い職場づくり ・ストレスのない職場づくり ・意識改革のための研修 ・学校行事のスムーズ化 ・教職員のメンタルヘルス研修
	<p>★長時間勤務の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本来の業務である授業に専念できる環境をつくり、未来を担う生徒たちの学びを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○長時間勤務者(R6・4月～3月) 45時間以上...39名、80時間以上...1名 [目標]80時間以上の超過勤務者を0名 	<ul style="list-style-type: none"> ○年休・育休等の取得奨励 ○会議・研修の精選 ○学校行事・業務内容の見直し ○超過勤務者への声がけ ○教材の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間勤務者(R7・4月～8月) 45時間以上...20名(昨年同期より7名減) 80時間以上...0名(昨年同期より1名減) 100時間以上...1名(昨年同期より1名増) 	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間勤務者に対する積極的な声掛け ・学校行事の精選 	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間勤務者(R7・4月～2月) 45時間以上...35名(昨年同期より3名減) 80時間以上...0名(昨年同期より1名減) 100時間以上...1名(昨年同期より1名増) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の精選 ・部活動顧問の複数顧問制 ・バランスを考慮した組織づくり ・超過勤務者への声がけ